

²⁰²² 6/15

発行/**老人保健施設くらかけの里** 〒010-0201 秋田県潟上市天王字鶴沼台43-231 TEL 018-878-6622 FAX 018-878-6611 E-mail: kurakake@violin.ocn.ne.jp URL: http://keijinkai.akita.jp/kurakake/

老人介護支援センター てんのうケアプランセンター てんのうつ010-0201 秋田県潟上市天王字鶴沿台43-231

TEL 018-878-7341 FAX 018-878-7471 E-mail: careten@poem.ocn.ne.jp URL: http://keijinkai.akita.jp/tenno/

<<< 介護老人保健施設の理念と役割 >>>

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上 をめざし総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

1. 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅まだは施設生活が過ごせるようチームで支援します。 そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテー ションを提供します。

2. リハビリテーション施設 体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的 に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

3. 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケア を行い、早期の在宅復帰に努めます。

4. 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が維持できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供するとともに、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家 族の介護負担の軽減に努めます。

5. 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、さまざまなケアの相談に対応します。市町村自 治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的 に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

あなたらしく。



ごあいさつ

社会福祉法人敬仁会 理事長 藤原

皆様には、日頃、社会福祉法人敬仁会の運営にご理解とご協力を賜り、誠に有り難うございます。 さて、令和4年もあっという間に半年が過ぎました。地域医療に携わる医師の立場で日常診療に追 われつつ、コロナ禍が浮き彫りにし、前倒しにしている様々な医療的課題や、より広い範囲で、社会 の課題について、今まさに取り組むべきことが増えたことも、月日の流れをいっそう速く感じさせる のかも知れません。

私がこの法人の理事になり、法人運営に関わるようになりましたのは平成8年で、今年で26年にな ります。また、特別養護老人ホーム松恵苑の嘱託医になり、直接利用者の皆様と接するようになりま したのは平成15年で、今年で19年になります。この間に、平成12年に新たな介護の仕組み(介護保険 制度)が始まり、個々の施設がより経営努力を求められるようになりました一方で、その後の経過で 地域に増加した施設数に見合うだけの介護職は養成されず、私たちの法人の各施設も、常に担い手不 足に悩んでいます。更に、施設を利用される方々の高齢化も進み、医療の仕組みの変化と相まって、 介護施設においても経管栄養や痰の吸引といった医療行為を必要とする利用者様や、認知障害を有す る利用者様が増え、施設介護は質、量ともに確実に重くなり、求められる役割も随分変わったと感じ ています。

社会は少子高齢化が進み、秋田においてはその先の人口減少局面を既に迎えており、今後、若年人 口は急速に、老年人口も緩やかに減少し、支える側よりも、支えられる側が多くなると予想される社 会において、どのような介護モデルが成り立つのかを真剣に考えるべき時なのだろうと思います。医 療と比べても格段に遅れている介護領域のデジタル化、IT化は喫緊の課題で、業務の効率化はもと より、利用者様の安全性や利便性の観点からも、早急な対応が必要です。その一方で、高齢になって も健康であり続け(健康寿命の延伸)、人や社会を支える側として活躍して頂けるような健康長寿社 会を目指す取組みに、私たちも積極的に関わるべきと考えています。息の長い取組みですが、昨年か ら東湖小学校の5年生を対象に、特別養護老人ホーム聚恵苑が行っている「健康寿命延伸プロジェク トーはその一環です。

2年半が経過した新型コロナウイルス感染症の流行は、ここに来て大きな波(第6波)を越え、危 惧されていた5月連休明けの再拡大も確認されておらず、少しずつ社会活動が回復しつつあるように 思われます。しかし、高齢者施設を運営する法人としては、まだまだ気を抜くことはできず、この後 で、高齢者の重症化予防として推奨されている4回目のワクチン接種への対応も含め、引き続き感染 対策に留意し、法人の各施設を利用される皆様が、健やかに、生きがいをもって過ごされるお手伝い ができればと考えております。

社会福祉法人敬仁会の理念・基本方針

念 本法人はすべての利用者の方々それぞれの尊厳・個性を尊重し、充実した生活を送られることを目 理 指す施設運営を理念とする

- 基本方針 1) 利用者の方々の要望・期待に応え、日々の幸せを実感できる施設であることを基本方針とする
 - 2) 利用者の方々の健康管理に常に配慮し、医療機関との連携を密接に行う
 - 3) 利用者の御家族、地域住民に本法人の事業内容、意図を御理解頂くため、積極的に情報を開示 し、満足して協力して頂ける体制づくりに努める
 - 4) 職員各自が本事業の重要性を理解し、自らの分野・業務について自覚と高度の技術を身につけ た専門職としての誇りを持ち、生き甲斐のある毎日を送れるべく努力する
 - 5) 利用者の方々が満足し、職員の向上意欲・努力を発揮できる組織環境を構築し、持続可能な健 全経営を行うことを目標とする

二人のブロムホフ

老人保健施設くらかけの里 管理者 妹尾 春樹

友人の一人にルーネ・ブロムホフがいます。ノルウェーのオスロ大学医学部の栄養生化学の教授 とがん研究所の所長を務めています。

ある時彼の教授室で雑談していて私が「長崎の出島の歴代のオランダ商館長のなかにブロムホフ氏がいるんだよ」と言いますと、彼が「それは親戚だ」と答えました。ブロムホフ教授の先祖はドイツからノルウェーに移住したのだそうで、第157代ブロムホフ館長(在任1817 – 1823年、かつてプロシャに在住)は親戚だそうです(なおオランダ人といつわって来日したドイツ人の例には医師のシーボルトもいます)。

このブロムホフ商館長は日本で初めて英語辞書を編纂した人として歴史に名をとどめていますが、何よりも夫人ティティアと2歳の息子ヨハンネスを連れて来日したことで有名です。当時幕府はオランダ商館員には妻子の帯同を許可しておらず、この商館長夫人はよほど人々の興味を引いたようで、長崎では商館長ファミリーの絵が描かれ、夫人と息子の人形が作られ、今日でも長崎古賀人形(注)のうちの「紅毛婦人」という名前で売られています。

家族はわずか16週間の出島滞在ののちオランダに帰国し、夫人は日本へ旅した最初の西洋婦人と して記録され記憶されています。

このようにオランダからは男性のみが赴任していたことが分かります。

さて、徳川政府はなぜわざわざ人口の島、出島を作ってオランダ人をそこに限って住まわせたのでしょうか。さまざまな理由と目的があったのでしょうが、感染症の予防がその一つであったことは相当に確かと考えられます。

また一方で長崎丸山遊郭 (赤瀬浩「長崎丸山遊郭 江戸時代のワンダーランド」講談社現代新書 (2021)) の存在は出島に住むオランダ人男性たちが長崎の街に繰り出すのを抑制したことでしょう。

このように人類は感染症の予防、対策には努力してきました。

私どもの施設では現在の感染症に対する最新の知識だけでなく、歴史をひもとき参照しつつ(例えば、アルフレッド・W・クロスビー(西村秀一訳)「史上最悪のインフルエンザ 忘れられたパンデミック」みすず書房(2004);速水融「日本を襲ったスペイン・インフルエンザ 人間とウイルスの第一次世界戦争」藤原書店(2006))利用者の皆様や私ども職員を新型コロナウイルスの感染から守っています。どうぞ安心して施設を利用して下さい。

注:土製で、江戸時代の文禄年間から作られた。長崎県指定伝統的工芸品で、京都市の伏見人形、 仙台市の堤人形と並ぶ日本三大土人形の一つである。





4/28 (木) くらかけの里大ホール で生け花を行いました。



生け花 大変良く 出来てます(笑)



花も笑顔も素晴らしい(笑)



くらかけの里職員畠山泰さんの作品



◎今現在パート職員として 勤務して頂いている畠山泰 さん。以前にはマンガ家を 目指していた事もあったそ うです。すばらしい絵の作 品にほれぼれしている利用 者と職員です。







献立紹介

- ・春のすらし寿司
- ・湯葉巻きと南ふの天ぷら・ 桜焼売の盛り合わせ
- ・茶碗蒸し
- ・和菓子 (蝶の舞い)
- ・まさりのお吸い物



今年度が始まり、桜も満開で春らしく気持ちの良い日が続いています。 さて、くらかけの里では施設の中でも春を感じて頂こうと、行事食として4月22日にお花見 御膳の提供を行いました。

桜色をメインとして、色とりどりの食材・蝶が舞ったような和菓子で春をイメージさせる献立に仕上げました。中でもくらかけの里名物の茶碗蒸しは具沢山で甘みが強くプルプル食感で好評でした。

今年度初めての行事食の提供でしたが、華やかな食事に、いつも以上に利用者様の笑顔がみられました。今後も各行事食、手作りおやつレク、毎月のセレクト給食を企画していきたいと思います。

支援センター てんのう

『安全に美味しく食べる』

食事の楽しみは命の喜びであり、栄養を摂取するという役割があります。

加齢に伴い唾液の分泌が減り、飲み込む力も弱くなり、食べた物が誤って気管に入り誤嚥や 誤嚥性肺炎につながる危険があります。

下の表にある項目に当てはまるものがないかを○×でチェックしてみましょう。

項目	○ か ×
・食事中によくむせる。	
・飲み込みの時に苦労することがある。	
・食べるのに時間がかかる。	
・飲み込んだ後も、□の中に食べ物が残っている。	
・飲み込んだ後に声が変わる。	
・飲み込む前後や最中にむせたり咳き込んだりする。	
・食べ物や胃液が□の中に逆流したり吐いたりする。	
・舌に白い海苔のようなものがついている。	

一つでも○のチェックがありましたら、食事時の姿勢に注意し、食事内容の工夫など誤嚥に 注意してください。

社会福祉法人 敬仁会

令和3年度決算報告書

借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位:千円)

事業活動収支決算書

(自)令和3年4月1日

文/天井:自 (至) 令和4年3月31日 (単位: 千円)

資産の部		負債・純資産の部	
科目	金 額	科目	金額
流動資産	951,551	流動負債	389,047
固定資産	1,439,718	固定負債	117,542
		(負債の部合計)	506,589
		基本金	21,208
		国庫補助金等特別積立金	254,726
		その他の積立金	70,372
		(修繕積立金)	70,372
		次期繰越活動増減差額	1,538,374
		当期繰越活動増減差額	△ 127,629
		(純資産の部合計)	1,884,680
(資産の部合計)	2,391,269	(負債及び純財産の部合計)	2,391,269

資 金 収 支 決 算 書

(自)令和3年4月1日

决 昇 百 (至) 令和4年3月31日 (単位:千円)

			(+12·11)
借方(支出)		貸方(収入)	
科目	金 額	科 目	金額
人件費支出	745,567	介護保険事業収入	940,813
事業費支出	174,544	その他の事業収入	5,142
事務費支出	80,266	経常経費寄附金収入	899
利用者負担軽減額	3,134	受取利息配当金収入	1
その他の支出	2	その他の収入	4,277
〈事業活動支出計〉	1,003,513	〈事業活動収入計〉	951,132
固定資産取得支出	12,935	施設整備等補助金収入	2,900
ファイナンス・リース債務の返済支出	6,424		
〈施設整備等支出計〉	19,359	〈施設整備等収入計〉	2,900
積立資産支出	11,242	積立資産取崩収入	13,798
〈その他の活動支出計〉	11,242	〈その他の活動収入計〉	13,798
	<当期資金収支差額>		△ 66,284
	< 前	628,788	
	< 当	562,504	

			(半位・1円)	
借方(費用])	貸 方 (収益)		
科目	金額	科目	金額	
人件費	751,929	介護保険事業収益	940,813	
事業費	174,544	その他の事業収益	5,142	
事務費	80,266	経常経費寄付金収益	899	
利用者負担軽減額	3,134			
減価償却費	95,269			
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 26,383			
<サービス活動費用計>	1,078,759	<サービス活動収益計>	946,854	
その他のサービス活動外費用	2	受取利息配当金収益	1	
		その他のサービス活動外収益	4,277	
<サービス活動外支出計>	2	<サービス活動外収益計>	4,278	
固定資産売却損・処分損	0	施設整備等補助金収益	2,900	
国庫補助金等特別積立金積立額	2,900			
<特別費用計>	2,900	<特別収益計>	2,900	
	< 当 期	△ 127,629		
	< 前期約	1,657,085		
	< 当期末	1,529,456		
	< そ のf	8,918		
	< 次期約	1,538,374		

脚注 減価償却累計額

(単位:千円) 建物 (基本財産) 786.000 建物 (その他) 729,718 構築物 73,196 車輌運搬具 30.164 器具及び装置 118,177 有形リース資産 24,341 無形固定資産 <合計> 1,761,699

施設行事予定

(令和4年7月~12月)











催されるそうです。秋田県でも、

東北絆ま

あとはこうげきをふせぐたてと てきをたかすやいばだけだ

あとからぼくたちがいくよ おとなたちよ さきにゆけ

ますく だれにもまけないつよいからだはできたよ しょうどく

ぼくたちゆうしゃはかけだした

ゆうしゃのだいぼうけん

飛ばすような元気を渡すつもりで詩を紹介

したいと思います。

もの詩のコンクールで小学生の部の大賞を ております。そこで皆さんにコロナを吹っ いただきました。コロナに関する詩となっ るさが戻ってくればいいなあと思う、 なり、少しずつ世の中もにぎわい活気や明 の影響で自粛していたものが次々と再開と うそうです。コロナウイルス感染拡大防止 つりや竿燈まつり等感染症対策をしつつ行 この頃です。 私事ですが、この度我が子が北東北子ど

さあみんなでたちむかおう

めにみえないてきへ いざすすめ